

Ⅰ．教育課程の編成方法

1. 授業科目の区分

本学の教育課程（カリキュラム）の編成は、2年間にわたっており、その内容は次のとおり構成されています。これらの分類のことを「**授業科目の区分**」といいます。

- ・ 共通科目（「**仏教の思想**」科目、外国語科目、保健体育科目）
- ・ 学科専攻科目

外国語科目は、「英語」です。

保健体育科目は、理論に関する科目と実技に関する科目とに区分されています。

本学で開設されている授業科目は、上記区分のいずれかに該当しますが、例外的に、いずれの区分にも属さない科目もあります。これを「随意科目」といいます。随意科目は、主として各種の資格取得にかかわる科目であって、卒業要件とは無関係です。

2. 必修科目、選択必修科目、選択科目、随意科目

すべての科目は必修科目、選択必修科目、選択科目、随意科目のいずれかに指定されています。

「必修科目」	卒業要件を満たすために必ず履修し単位を修得しなければならない科目です。この科目の単位が未修得の場合は、修得単位数の合計が卒業要件単位数を超えていても、卒業の認定を受けることができません。なお、「スポーツ文化ⅠA」「スポーツ文化ⅠB」を2科目とも修得した場合、うち2単位を「共通・選択科目」として取り扱います。
「選択必修科目」	指定された科目群の内から決められた単位数の科目を任意に選択して単位を履修しなければならない科目です。この科目も必修科目と同じく決められただけの単位数が未修得であれば、卒業の認定を受けることができません。また、 <u>これらの科目は、指定された単位数を超えて修得しても、超えた分の単位数を選択科目の単位数の一部に充てることはできません。</u>
「選択科目」	どの科目を履修するかはすべて学生の自由に任されている科目です。ただし、卒業要件上、一定の単位数を修得することが義務づけられており、この要件を満たしていない場合は卒業の認定を受けることができません。
「随意科目」	主として各種の資格取得にかかわる科目であって、卒業要件とは無関係です。そのため、随意科目は共通科目、学科専攻科目の区分の外に置かれます。

3. 年次配当制

すべての授業科目は、「年次配当制」となっています。この年次配当制というのは、より学修成果を高めるために、授業科目の性格、他の授業科目との関連等により、個々の授業科目について、その履修年次を指定する制度をいいます。従って授業科目は、配当された年次において履修されなければなりません。

ただし、2年次生が1年次配当科目を履修することはできます。

4. 設置科目について

本学の教育課程は、共通科目と学科専攻科目とが有機的に組み合わせられて、年次別に系統的に配当されています。学科専攻科目では、入門科目・基本科目の履修を基礎に自らの関心や将来の進路に従

履修をはじめるにあたって
シラバス
単位制度と単位の認定
履修の心得
授業科目の開設方法
履修登録
成績評価
教育課程の編成方法
諸課程
その他
学修生活の手引き
学修保健センター 障がい学生支援について
授業休止の取り扱い基準
学籍の取り扱い
付録

い専攻するテーマを選び、専門科目を受講することによって特定の分野に接近していくこととなります。

これに対し、共通科目は、数千年にわたる人類の広く深い営みの中で生まれてきたさまざまな学問分野にふれることによって、みなさんが幅広い見識と豊かな教養を身につけるために開講されています。学科専攻科目との関連でいえば、共通科目で身につける広く総合的な知識が専門的学問研究の進展を助け、豊かなものにさせることでしょう。従って、自分が専攻するテーマに直接関係がないからといって、共通科目の受講をおろそかにすることは誤りといわなければなりません。

知的活動は、専門化への傾向とともに、他分野との関連を求めようとする内的衝動をもっています。共通科目のカリキュラムは、この必然性を大学教育の中に系統的に配置したものです。

(1) 共通科目

1) 仏教の思想

本学は「親鸞聖人によって開示された浄土真宗の精神を建学の精神にもち、真の人間たるにふさわしい世界を開くことをめざし、深い学識と教養をもちながら国際社会の一員として努力する人間を育成すること」をめざしています。

「仏教の思想」は本学の建学の精神を学ぶために必修科目として位置づけられ、大学の一つの個性となっています。この講義では本学のよき伝統を知り、仏教の思想を学ぶことを通して、自己を内省し、幅広いものの見方と心の豊かさを育てることを目的としています。「仏教の思想」は、各学部のカリキュラムに沿って履修しやすいように、クラス指定で1年次に開講されています。また、入学した学生にいち早く建学の精神を学んでほしいという願いもあります。この「仏教の思想」を平易に理解するために、次のような教育目標を掲げています。

1. 人間にとっての宗教の意義を明らかにする。真実の宗教を見極める眼を育てる。
2. 倫理・歴史として「仏教の思想」を学ぶ。
3. 人間学として「仏教の思想」を学ぶ。
4. 広い視野を育てるために「仏教の思想」を学ぶ。
5. 現代世界のあり方を考える思想として「仏教の思想」を学ぶ。
6. いのちのかけがえのなさに目覚め、異なる意見と対話・交流しあえるような姿勢を培うために、「仏教の思想」を学ぶ。
7. 「仏教の思想」を通して、龍谷大学の建学の精神を学ぶ。

2) 外国語科目

外国語としては、共通科目において、第一外国語（英語Ⅰ、英語Ⅱ）、社会福祉学科専攻科目において、第二外国語（ドイツ語、フランス語）を開講しています。

大学における外国語教育の目的は、それぞれの外国語の実用能力を養うことだけではありません。母国語とは異質の言語に接することにより、各民族の思考様式を規定している言語に対する認識を深め、外国の芸術、文化をより深く理解する能力を養うことがそのより深い目的です。また母国語との間に行われる訳解の日常作業は、外国語能力の養成のみならず、一般に理論的思考能力の錬磨のため古来大きな役割を果たしてきました。さらにそれが日本語を客観的に眺め、自分の日本語能力を検証し得る数少ない機会の一つとなっていることも指摘しておかなければなりません。

これらが一体となって大学生活に必須とされる学問的基礎訓練の一環をなしているわけです。

みなさんがこの目標に近づくためには、大学の外国語教育に対する正しい理解をもつとともに、訓練にたえる忍耐力・持続力が不可欠なことを特に強調しておきます。教室外での自発的研修ももちろん必要となります。

3) 保健体育科目

大学の保健体育教育の目的は体育文化の全体像を把握すること、そして具体的にはスポーツ技術を

獲得し、健康の維持・増進の法則を理解して、これらを自主的に実践していく能力を身につけることをいいます。

保健体育科目における「スポーツ」の意義は、「健康」という目的からみての手段というところにあるばかりでなく、それ独自の目的にあります。スポーツには何より楽しさがなくてはなりません。この楽しさとは、長い歴史の中で発展してきたスポーツ文化をわがものとしながら、同時に自然の一部としての身体が持つ法則を理解していくところにあります。スポーツ技術を獲得し深めるためには個人の身体的能力を伸ばすだけではなく、科学的なスポーツ知識もまた必要です。これらを通して、すべての人がスポーツを普遍的なものとして享受できるようになります。

健康をつくりだす要因としては一人一人の努力のほかに、一定の社会的諸条件がまた必要です。従って健康や体力を増進させていくための法則的事柄を認識するとともに、健康と社会的条件との関係を正しく分析し、自ら健康な生活を創造していくことが重要となります。

みなさんがスポーツの全体像を把握することを通して、健全な知的活動と健全な身体活動の相互の関係を正しく、かつ深く認識してくれることを期待します。

(2) 学科専攻科目

1) 社会福祉学科専攻科目

学科専攻科目は必修科目と選択科目からなっています。必修科目は、社会福祉の諸領域に共通する基本的な原理・原論を学び、また実践的性格の強い社会福祉の活動や制度の基礎を理論的・体験的に学ぶことをめざす科目群によって構成されています。

つづいて選択科目には、今日の広範におよぶ社会福祉についての学習に必要とされる多様な科目が設置されています。これらの中から、学生各自の関心や将来の進路に沿ってしかもバランスよく、いわば各論的に社会福祉の諸領域を学んでいくものです。とくに選択科目の中には、社会福祉士資格取得に関する科目等が多く含まれているので、計画的に科目を選択し履修するように心掛けなければなりません。

2) こども教育学科専攻科目

こども教育学科の教育目標は、保育や幼児教育の現場においてこども同士の「共生」を促し、励まし、見守り、支える専門職を養成することにあります。こうした目標を達成するため教育課程の中核に、①保育・幼児教育の本質理解および対象理解に関わる科目、②現代社会福祉、なかでも児童福祉の法制度とサービス内容の理解に関わる科目、③保育・幼児教育の方法理解に関わる科目を必修科目として配置します。

選択科目には、第1に、保育・幼児教育の専門職が対象とするこどもとその家族について、心理学や医学、栄養学、家政学、社会福祉学の知見を踏まえて多面・多角的に理解を深めるための科目を配置しています。第2に、属性別の保育内容や教育方法に関する科目、第3に、保育や幼児教育の実践における基礎技能としての図画工作、体育、音楽について理論的な知識と実践的な技術の習得をめざす科目、また絵本やおもちゃ等を含め、広く児童文化の現状や課題の理解を深める科目、専門職として養成される基本的な文章作法の習得をめざす科目を配置しています。第4に、保育士資格、または幼稚園教諭二種免許状取得に必要な学外実習科目、第5に、保育・幼児教育の専門職志望者向けに開講される演習科目を配置します。

履修をはじめるにあたって	シラバス	単位制度と単位の認定	授業科目の開設方法	履修の心得	履修登録	成績評価	教育課程の編成方法	教育課程	諸課程	その他	習熟保健センター 履修生活支援について	授業休止の取り扱い基準	学籍の取り扱い	付録
--------------	------	------------	-----------	-------	------	------	-----------	------	-----	-----	------------------------	-------------	---------	----

5. 設置科目・配当年次・カリキュラムマップ

設置科目

本学における授業科目及び単位数は、次のとおりとする。

(1) 共通科目

◎：必修科目 ○：選択科目

	授業科目	単位数	配当年次				課程				卒業単位	備考
			1年次		2年次		社会福祉士国家試験 受験基礎資格	保育士養成	教職(幼稚園)	ビハラー活動者養成		
			前	後	前	後						
必修科目	仏教の思想	4	○				○	○		8)いずれか 2単位必修	
	英語Ⅰ	2	○				○	○				
	スポーツ文化ⅠA	2		○			○	○				
	スポーツ文化ⅠB	2	○				○	○	①			
選択科目	哲学	4	○							社会福祉 学科 6		
	心理学	2	○	○			○					
	法学(日本国憲法を含む。)	2	○					○				
	社会学	4	○				○					
	英語Ⅱ	2			○							
	宗教教育	2	○					○				
	情報処理基礎	2	○	○				○	○	こども 教育学科 4		
	ジェンダー論	4	○									
	言語表現論	2		○								
	キャリアデザイン論	2	○									
	共生(ともいき)論	2				○						
	English language (Ryukoku Intercultural Program)	12	○	○								
Lecture (Ryukoku Intercultural Program)	2	○	○						②			
特別講座	1		○									

- ①：「スポーツ文化ⅠB」(レクリエーション)選択
 ②：前期終了時点においてGPAが1.0以下の学生のみ履修

(2) 社会福祉学科専攻科目

◎：必修科目 ○：選択科目

	授業科目	単位数	配当年次				課程		卒業単位	備考
			1年次		2年次		社会福祉士国家試験基礎資格	ビハール活動者養成		
			前	後	前	後				
必修科目	社会福祉原論	4	○				◎		20	
	ソーシャルワークの基盤と専門職	4	○				◎			
	卒業論文	4			○					
	基礎演習	2	○							
	ソーシャルワーク現場実習指導Ⅰ	4	○				◎			
選択必修科目	社会福祉実習指導	2			○				11	} いずれか選択必修
	社会福祉演習Ⅰ	2		○			◎			
	ソーシャルワーク演習Ⅰ	2		○			◎			
	社会福祉演習Ⅱ	4			○					} いずれか選択必修
	ソーシャルワーク演習Ⅱ	4			○		◎			
	社会福祉実習	1			○					} いずれか選択必修
	ソーシャルワーク現場実習Ⅰ	2			○		◎			
	ソーシャルワークの理論と方法	4			○		◎			} いずれか選択必修
	ソーシャルワークの理論と方法(専門)	4			○		◎			
	選択科目	ソーシャルワーク現場実習Ⅱ	4			○		◎		
ソーシャルワーク現場実習Ⅲ		2			○		◎			
ソーシャルワーク現場実習指導Ⅱ		4			○		◎			
ソーシャルワーク演習Ⅲ		4			○		◎			
介護技術演習		1			○			◎		
総合講座人間・科学・宗教		2	○							
国際福祉学特講		2		○						
教養英語Ⅰ		1	○							
教養英語Ⅱ		1		○						
教養英語Ⅲ		1		○						
教養英語Ⅳ		1			○					
日本語表現		4		○						
ドイツ語		2		○						
フランス語		2		○						
スポーツ文化Ⅱ		2							2024年度不開講	
情報処理応用		2		○						
民法		2		○						
マクロ経済学入門		4	○							
ミクロ経済学入門		4			○					
国際福祉論		4							2024年度不開講	
医学概論		2	○				◎	◎		
介護概論		2		○			◎	◎		
社会保障論		4		○			◎	◎		
発達心理学		2							2024年度不開講	
児童文化		1							2024年度不開講	
更生保護制度		2				○	◎			
仏教福祉論		2	○					◎		
カウンセリング基礎論		4			○			◎		
コミュニケーション論		4			○					
余暇活動論		2							2024年度不開講	
社会福祉学特殊講義Ⅰ		4							2024年度不開講	
社会福祉学特殊講義Ⅱ		4							2024年度不開講	
社会福祉学特殊講義Ⅲ		4		○						
社会福祉学特殊講義Ⅳ		4		○						
社会福祉学特殊講義Ⅴ		4		○						
社会福祉学特殊講義Ⅵ		4		○						
高齢者福祉論	2			○		◎	◎			
障害者福祉論	2			○		◎	◎			
児童福祉論	2			○		◎				
社会福祉調査論	2	○				◎				
福祉行財政と福祉計画	2	○								

履修をはじめ
るにあたって

シラバス

単位制度と
単位の認定

授業科目の
開設方法

履修登録

成績評価

教育課程
教育課程の
編成方法

諸課程

その他

学修生活の手引き
授業休止の
取り扱い基準

学籍の取り扱い

付録

◎：必修科目 ○：選択科目

	授業科目	単位数	配当年次				課程		卒業単位	備考
			1年次		2年次		社会福祉士 国家試験 基礎 資格 受験	ビハラー 活動者 養成		
			前	後	前	後				
選択科目	福祉サービスの組織と経営	4			○		◎			
	保健医療サービス	2					◎			
	就労支援サービス	2							2024年度不開講	
	権利擁護と成年後見制度	2					◎			
	地域福祉と包括的支援体制	4				○	◎			
	公的扶助論	2			○		◎			
	臨床心理学	4				○		○		
	精神保健	2				○		○		
	哲学概論	4							2024年度不開講	
	高齢者・障害者の心理	2				○		◎		
	ビハラー活動論	2		○				◎		
	リハビリテーション概論	2				○				
	福祉とセラピー	2							2024年度不開講	
	ビハラー活動内容総論	2	○					◎		
	ビハラー活動実習	2					○	◎		
Volunteer (Ryukoku Intercultural Program)	6	○	○							
特別講座 (海外研修)	2	○								

■ マーカーの授業科目は 2024 年度不開講

(3) こども教育学科専攻科目

◎：必修科目 ○：選択科目

	授業科目	単位数	配当年次				資格科目		卒業単位	備考
			1年次		2年次		保育士	教職 (幼稚園)		
			前	後	前	後				
必修科目	社会福祉	2		○			◎		19	
	子ども家庭福祉	2			○		◎			
	保育原理Ⅰ	2	○				◎			
	社会的養護Ⅰ	2		○			◎			
	教育原理・社会学	2			○		◎	◎		
	保育の心理学Ⅰ	2	○				◎			
	幼児と健康	1	○				◎	◎		
	幼児と人間関係	1	○	○			◎	◎		
	幼児と環境	1	○				◎	◎		
	幼児と言葉	1	○	○			◎	◎		
	幼児と表現A	1	○				◎	◎		
	幼児と表現B	1	○				◎	◎		
	保育内容総論	1	○				◎	◎		
	選択科目	保育内容「健康」の指導法	1		○			◎		◎
保育内容「人間関係」の指導法		1		○			◎	◎		
保育内容「環境」の指導法		1		○			◎	◎		
保育内容「言葉A」の指導法		1		○			◎	◎		
保育内容「表現A」の指導法		1				○	◎	◎		
保育内容「表現B」の指導法		1				○	◎	◎		
保育内容「言葉B」の指導法		1			○		◎	◎		
教育課程総論		2				○	◎	◎		
教育方法論		2		○			◎	◎		
特別支援保育		2		○			◎	◎		
幼児理解と教育相談		2			○		◎	◎		
言葉遊び		1			○		◎	◎		
児童文化		1	○				◎	◎		
図画工作Ⅰ		1	○				◎	◎		
図画工作Ⅱ		1		○			◎	◎		
幼児体育		1				○	◎	◎		
音楽Ⅰ		1	○	○			◎	◎		
音楽Ⅱ		2			○		◎	◎		
音楽Ⅲ		2				○	◎	◎		
文章作法		2							2024年度不開講	
保育実習指導Ⅰ		2	○				◎	◎		
保育実習指導Ⅱ		1		○			◎	◎		
保育実習指導Ⅲ		1			○		◎	◎		
保育原理Ⅱ		2				○	◎	◎		
保育と人権		2		○			◎	◎		
教職論		2		○			◎	◎		
保育の心理学Ⅱ		2						◎	2024年度不開講	
教育心理学		2				○	◎	◎		
子育て支援		1				○	◎	◎		
子ども家庭支援論		2				○	◎	◎		
子どもの理解と援助		1				○	◎	◎		
子ども家庭支援の心理学		2				○	◎	◎		
子どもの保健		2	○				◎	◎		
子どもの健康と安全		1		○			◎	◎		
子どもの食と栄養		2				○	◎	◎		
精神保健		2				○	◎	◎		
乳児保育Ⅰ		2				○	◎	◎		
乳児保育Ⅱ		1				○	◎	◎		
社会的養護Ⅱ		1				○	◎	◎		
家庭管理		2				○	◎	◎		
こども教育学研究演習		2							2024年度不開講	
教育実習		5				○	◎	◎		
保育・教職実践演習(幼稚園)	2				○	◎	◎			
保育実習Ⅰ(保育所)	2		○			◎	◎			
保育実習Ⅰ(施設)	2			○		◎	◎			
保育実習Ⅱ	2				○	◎	◎			
保育実習Ⅲ	2				○	◎	◎			
卒業研究	2							2024年度不開講		
Volunteer(Ryukoku Intercultural Program)	6	○	○							

①：「保育実習Ⅱ」または「保育実習Ⅲ」のいずれか選択必修

※実習科目を受講するには、それぞれの先修科目の修得が必要です(P.74・P.76参照)。

■ マーカーの授業科目は2024年度不開講

履修をはじめ るにあたって
シラバス
単位制度と 単位の認定
授業科目の 開設方法
履修登録
成績評価
教育課程 教育課程の 編成方法
諸課程
その他
習得保健センター 障がい生支援について
学修生活の手引き
授業休止の 取り扱い基準
学籍の取り扱い
付録

【社会福祉学科カリキュラムマップ】福祉全般にわたる基礎的教養を修得するとともに、専門及び隣接領域の知識や実践能力を身に付けた人材を養成することを目的とします。

1年次		2年次	
前期	後期	前期	後期
<p>【共通科目】…幅広い教養と社会人として必要な知識・スキルを養います。</p> <p>英語Ⅰ・共生(ともいき)論</p>			
<p>【基礎的な専攻科目】</p>			
社会福祉原論	社会福祉原論	卒業論文	
ソーシャルワークの基礎と専門職	ソーシャルワークの基礎と専門職	高齢者福祉論	
社会福祉学特殊講義Ⅲ	社会福祉学特殊講義Ⅲ	障害者福祉論	
社会福祉学特殊講義Ⅳ	社会福祉学特殊講義Ⅳ	ソーシャルワークの理論と方法	
社会福祉学特殊講義Ⅴ	社会福祉学特殊講義Ⅴ	コミュニケーション論	
<p>【プログラム】</p>			
社会福祉士養成プログラム(社会福祉原論、ソーシャルワークの基礎と専門職、ソーシャルワークの理論と方法、地域福祉と包括的支援体制、福祉サービスの組織と経営、社会保険論、高齢者福祉論、介護概論、障害者福祉論等)			
障がい者共育プログラム(社会福祉学特殊講義Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ、障害者福祉論)			
国際福祉プログラム(国際福祉学特講、特別講座(海外研修)、英語Ⅰ、英語Ⅱ、教養英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、ソーシャルワーク現場実習指導Ⅰ(国際福祉系)の福祉体験活動)、社会福祉実習(国際福祉実習)等)			
ビハラー活動者養成プログラム(ビハラー活動論、仏教福祉論、社会保険論、高齢者福祉論、障害者福祉論、高年齢者福祉論、高年齢者・障害者の心理、医学概論、精神保健、臨床心理学、ビハラー活動内容総論、カウンセリング基礎論等)			
編入学準備プログラム(総合講座人間・科学・宗教、英語Ⅰ・Ⅱ、教養英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、言語表現論、日本語表現、学部別プログラム等)			
社会福祉士養成課程	基礎演習 福祉活動体験 見学実習	ソーシャルワーク演習Ⅱ ソーシャルワーク現場実習Ⅰ ソーシャルワーク現場実習Ⅱ ソーシャルワーク現場実習Ⅲ	
	ソーシャルワーク現場実習指導Ⅰ	ソーシャルワーク現場実習指導Ⅱ	
		社会福祉実習指導	
		ソーシャルワークの理論と方法	
		社会福祉演習Ⅱ	
		社会福祉実習	
資格非対応	基礎演習 福祉活動体験 見学実習	社会福祉実習指導	
	ソーシャルワーク現場実習指導Ⅰ		

実社会で活躍する

四年制大学への編入

【こども教育学科カリキュラムマップ】保育・幼児教育に関する専門的・実践的能力を身に付けた人材を養成することを目的とします。

1年次		2年次	
前期	後期	前期	後期
<p>【共通科目】…幅広い教養と社会人として必要な知識・スキルを養います。 仏教の思想・英語Ⅰ・スポーツ文化ⅠA・スポーツ文化ⅠB・法学・情報処理基礎など</p>			
<p>【基礎的な専攻科目】保育・教職の基礎理論を学びます</p> <p>理論系科目</p> <ul style="list-style-type: none"> 幼児と健康 幼児と人間関係 幼児と環境 幼児と表現A 幼児と表現B 保育原理Ⅰ 保育内容総論 児童文化 子どもの健康と安全 音楽Ⅰ Ⅰ期・Ⅱ期・Ⅲ期 図画工作Ⅰ 		<p>【発展的な専攻科目】</p> <ul style="list-style-type: none"> 子ども家庭福祉 教育課程総論 教育原理・社会学 社会的養護Ⅱ 保育内容「表現A」の指導法 保育内容「表現B」の指導法 保育内容「言葉B」の指導法 子どもの食と栄養 音楽Ⅱ 音楽Ⅲ 幼児体育 	
<p>実技系科目</p> <ul style="list-style-type: none"> 保育実習指導Ⅰ 保育実習Ⅰ (保育所) 教育実習 (春期) 		<p>保育実習指導Ⅱ</p> <ul style="list-style-type: none"> 保育実習Ⅱ or Ⅲ 保育実習Ⅰ (施設) 教育実習 保育・教職実践演習 (幼稚園) 教育実習 (秋期) 	
<p>保育士養成課程</p>		<p>教職課程</p>	
<p>実習科目について</p>			

実社会で活躍する

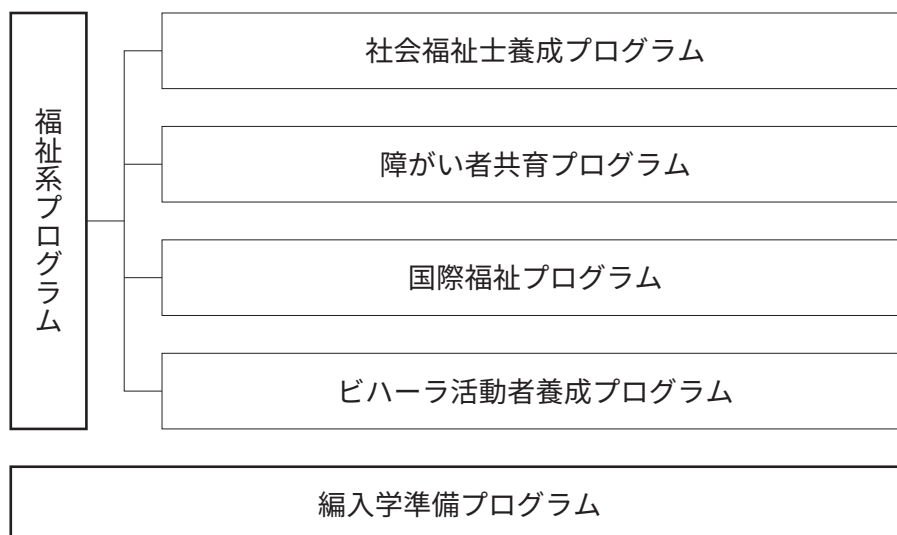
四年制大学への編入

履修をはじめ るにあたって	シラバス	単位制度と 開設方法	授業科目の 履修登録	成績評価	教育課程 編成方法	教育課程 諸課程	その他	卒業生活の手引き	学籍の取り扱い	授業休止の 取り扱い基準	付録

6. 社会福祉学科各種プログラム

なりたい自分になるためのキャリアアッププログラム一覧

※次ページ以降の各プログラム①到達目標、②対象、③プログラム内容、④プログラム修了条件をよく読み、自分の目的にあったプログラムを任意で選択（複数選択可）。



福祉系プログラム

(1) 社会福祉士養成プログラム

① 到達目標

- ・社会福祉の専門的な知識を身につける。
- ・社会福祉士国家試験受験基礎資格を取得する。

② 対象

- ・社会福祉士国家試験受験基礎資格取得を目指す人
- ・社会福祉領域への就職を目指す人

③ プログラム内容

科目名	単位数	必修／選択
医学概論	2	必修
心理学	2	必修
社会学	4	必修
社会福祉原論	4	必修
社会福祉調査論	2	必修
ソーシャルワークの基盤と専門職	4	必修
ソーシャルワークの理論と方法	4	必修
ソーシャルワークの理論と方法（専門）	4	必修
地域福祉と包括的支援体制	4	必修
福祉サービスの組織と経営	4	必修
社会保障論	4	必修
高齢者福祉論	2	必修
介護概論	2	必修
障害者福祉論	2	必修
児童福祉論	2	必修
公的扶助論	2	必修
保健医療サービス	2	必修
権利擁護と成年後見制度	2	必修
更生保護制度	2	必修
ソーシャルワーク演習Ⅰ	2	必修
ソーシャルワーク演習Ⅱ	4	必修
ソーシャルワーク演習Ⅲ	4	必修
ソーシャルワーク現場実習指導Ⅰ	4	必修
ソーシャルワーク現場実習指導Ⅱ	4	必修
ソーシャルワーク現場実習Ⅰ	2	必修
ソーシャルワーク現場実習Ⅱ	4	必修
ソーシャルワーク現場実習Ⅲ	2	必修

④ プログラム修了条件

必修科目を全て修得すること

履修をはじめ るにあたって
シラバス
単位制度と 単位の認定
授業科目の 開設方法
履修登録
成績評価
教育課程 の 編成方法
諸課程
その他
学修生活の手引き （啓蒙保健センター で学ぶ学生について）
授業休止の 取り扱い基準
学籍の取り扱い
付録

(2) 障がい者共育プログラム

①到達目標

自己の内にある、知的障がいのある人に対する偏見を自覚できるようになる。知的障がいのある人を、尊厳ある個人として尊敬し、個性の伸張を互いに進めることを学ぶ。自己決定、自立支援の意味を理解し、そのサポートのコツや姿勢を実際的に身につける。学習し身につけたものを、公開の場でプレゼンテーションできるようになる。

②対象

- ・社会福祉士国家試験受験基礎資格取得を目指す人
※社会福祉士国家試験受験基礎資格を取得するためには、社会福祉士養成プログラムを修了する必要があります。
- ・障がいの有無に関わらず、人を尊重することを学びたいと考える人
- ・障がい者にかかわる仕事に就きたい人
- ・音楽療法や演劇療法に関心がある人

③プログラム内容

科目名	単位数	必修／選択
社会福祉学特殊講義Ⅲ	4	必修
社会福祉学特殊講義Ⅳ	4	選択必修
社会福祉学特殊講義Ⅴ	4	選択必修
障害者福祉論	2	選択

④プログラム修了条件

合計 8 単位以上修得すること。

※ともいき大学学習支援に参加することが望ましい。

(3) 国際福祉プログラム

①到達目標

- ・国際福祉について理解する。
- ・英検 2 級、TOEIC (IP でも可) 400 点以上、TOEFL-PBT (ITP でも可) 430 点以上または TOEFL-iBT 39 点以上のいずれかの取得を目指す。

②対象

- ・国際福祉に関心のある人
- ・国際福祉領域に就職を希望する人
- ・国際学部、経済学部国際経済学科に編入学を希望する人

③プログラム内容

科目名	単位数	必修／選択
国際福祉学特講	2	必修
社会福祉演習Ⅰ（国際福祉クラス）	2	選択
社会福祉演習Ⅱ（国際福祉クラス）	4	選択
特別講座（海外研修）	2	選択
ソーシャルワーク現場実習指導Ⅰ（国際福祉系の福祉体験活動を含む）	4	必修
社会福祉実習（国際福祉実習）	1	選択
社会福祉実習指導（国際福祉実習指導プログラム）	2	選択
英語Ⅰ	2	4 単位 以上 必修
英語Ⅱ	2	
教養英語Ⅰ	1	
教養英語Ⅱ	1	
教養英語Ⅲ	1	
教養英語Ⅳ	1	
教養英語Ⅴ	1	

④プログラム修了条件

合計 10 単位以上修得すること。

履修をはじめるにあたって
シラバス
単位制度と開設方法
授業科目の履修登録
成績評価
教育課程の編成方法
諸課程
その他
学修生活の手引き
学務保健センター 障がい学生室について
授業休止の取り扱い基準
学籍の取り扱い
付録

(4)ビハーラ活動者養成プログラム

①到達目標

ビハーラ活動者となる。
死にゆく人への支援を理解する。

②対象

ターミナルケアについて学びたい人
ビハーラ活動者をめざす人
仏教福祉に関心のある人

③プログラム内容

科目名	単位数	必修／選択
ビハーラ活動論	2	必修
仏教福祉論	2	必修
社会保障論	4	選択
高齢者福祉論	2	選択
障害者福祉論	2	選択
高齢者・障害者の心理	2	必修
医学概論	2	選択
精神保健	2	選択
臨床心理学	4	選択
ビハーラ活動内容総論	2	必修
カウンセリング基礎論	4	必修
介護概論	2	必修
介護技術演習	1	必修
スポーツ文化ⅠB（レクリエーション・スポーツ）	2	選択
ビハーラ活動実習	2	必修

④プログラム修了条件

合計 26 単位以上修得すること。

編入学準備プログラム

①到着目標

- ・自分にあったキャリアデザインを実現するために、龍谷大学はじめ、希望大学・学部の編入学試験に合格する。
- ・編入学後の学修をスムーズに進めるための学力を身につける。

②対象

- ・龍谷大学への編入学をめざす人

③プログラム内容

- 1) 共通プログラムおよび2) 学部別プログラム科目修得者は、龍谷大学指定校推薦編入学試験の短期大学部内選考において、社会福祉学科生の選考において優先されます。

※オープンキャンパスに参加するなど、編入希望学部について調べておくこと。

1) 共通プログラム ※プログラム修了の条件 合計8単位以上修得

科目名等	単位数	必修／選択
総合講座 人間・科学・宗教	2	必修
英語Ⅰ	2	4単位以上 必修
英語Ⅱ	2	
教養英語Ⅰ	1	
教養英語Ⅱ	1	
教養英語Ⅲ	1	
教養英語Ⅳ	1	
言語表現論	2	
日本語表現	4	必修

2) 学部別プログラム

文学部 ※プログラム修了の条件 合計8単位以上修得

科目名	単位数	必修／選択
ドイツ語	2	選択必修
フランス語	2	
言語表現論	2	必修
文学部開講科目（希望学科に関連した科目）	2	選択必修
心理学	2	
哲学	4	

経済学部 ※プログラム修了の条件 合計8単位修得

科目名	単位数	必修／選択
マクロ経済学入門	4	必修
ミクロ経済学入門	4	必修

経営学部 ※プログラム修了の条件 合計18単位修得

科目名	単位数	必修／選択
福祉行財政と福祉計画	2	必修
福祉サービスの組織と経営	4	必修
マクロ経済学入門	4	必修
ミクロ経済学入門	4	必修
情報処理基礎	2	必修
情報処理応用	2	必修

履修をはじめるにあたって

シラバス

単位制度と単位の認定

授業科目の開設方法

履修登録

成績評価

教育課程の編成方法

諸課程

その他

学務保健センター・障がい学生室について

授業休止の取り扱い基準

学籍の取り扱い

付録

履修の心得

教育課程

学修生活の手引き

法学部 ※プログラム修了の条件 合計 8 単位以上修得

科目名	単位数	必修／選択
法学（日本国憲法含む。）	2	必修
民法	2	必修
法と裁判	2	4 単位 以上 履修
労働と法	2	
民法Ⅰ - A	2	
日本法制史A	2	
刑事法入門	2	
民法Ⅰ - B	2	
憲法Ⅰ（4 単位）	4	

政策学部 ※プログラム修了の条件 合計 10 単位修得

科目名	単位数	必修／選択
法学（日本国憲法含む。）	2	必修
マクロ経済学入門	4	必修
ミクロ経済学入門	4	必修

社会学部 ※プログラム修了の条件 合計 6 単位修得

科目名	単位数	必修／選択
社会学	4	必修
社会福祉調査論	2	必修

国際学部 ※プログラム修了の条件 合計 6 単位以上修得

科目名	単位数	必修／選択
教養英語Ⅰ	1	必修
教養英語Ⅱ	1	必修
教養英語Ⅲ	1	必修
教養英語Ⅳ	1	必修
英語Ⅱ	2	選択
ドイツ語	2	選択
フランス語	2	選択

心理学部 ※プログラム修了の条件 合計 4 単位以上修得

科目名	単位数	必修／選択
心理学	2	必修
精神保健	2	必修
臨床心理学概論	2	選択
心理学概論	2	選択

7. 科目選択の際の留意事項【社会福祉学科】

下記の科目については選択方法を熟読のうえ、今年度の履修にあたってください。

(1) 演習（ゼミ）の選択について

「社会福祉演習Ⅰ」（2単位）
「ソーシャルワーク演習Ⅰ」（2単位） } 1年次後期・選択必修科目

※いずれかの科目を必ず履修してください。なお、次の基準を確認してください。

「社会福祉演習Ⅰ」を選択できる学生

「ソーシャルワーク演習Ⅰ」を選択しない学生です。

「ソーシャルワーク演習Ⅰ」を選択できる学生

社会福祉士国家試験受験基礎資格の取得を希望し、履修許可を得た学生が選択できます。それ以外の学生は原則履修できません。

(2) 実習科目等の履修について

1) 「社会福祉実習」（1単位）
2) 「ソーシャルワーク現場実習Ⅰ」（2単位） } 2年次配当・選択必修科目

※ 1)、2) いずれかのパターンで履修してください。なお、次の基準を確認してください。

1) 「社会福祉実習」

① 選択できる学生

社会福祉演習を受講している学生が履修します。

② 実習先及び内容

原則として、大学が指定する施設等にて以下の内容で実習を行います。

a. 地域実習

社会福祉施設等で実習を行います。

b. 国際実習

国際福祉に関する活動に取り組む NPO 法人や社会福祉法人等での実習、ギャップ・ Semester・プログラム、海外研修、学生自身が企画・開拓するプログラムのいずれかで実習を行います。

2) 「ソーシャルワーク現場実習Ⅰ」

① 選択できる学生

ソーシャルワーク演習を受講している学生が履修します。

② 実習先及び内容

原則として、大学が指定する福祉施設で実習を行います。

履修をはじめるにあたって
シラバス
単位制度と単位の認定
履修の心得
授業科目の開設方法
履修登録
成績評価
教育課程
教育課程の編成方法
諸課程
その他
学修生活の手引き
啓蒙保健センター 障がい学生支援について
授業休止の取り扱い基準
学籍の取り扱い
付録

8. 留学生の必修外国語科目

<留学生対象>

留学生は、必修外国語として「英語Ⅰ」の代わりに「日本語」を2単位まで履修し修得することができます。

ただし、登録にあたっては必ず短期大学部教務課で相談してください。

科目名	単位	配当年次	開講形態
日本語	1	1年次以上	がっきかんけつがた 学期完結型